

揚水する



塩田揚水機場と
遠隔操作室



塩田揚水機場

塩田調整池から大川・管又吐水槽へ

塩田調整池に貯水された用水は、取水施設(斜樋)を通して直接この機場により大川吐水槽と管又吐水槽に圧送されます。調整池の水位がポンプより高いところに位置するために一般の揚水機場に見られる吸水槽がありません。

4台のポンプで最大毎秒1,704m³の用水を送ることが出来ます。本機場と両吐水槽との標高差は約56mあります。

●塩田揚水機場諸元

位 置	栃木県芳賀郡市貝町大字塩田
構 造 形 式	RC構造平屋建 12.8m×34.7m
面 積	建築面積461m ² 、延床面積436m ²
ポン プ 形 式	横軸両級込込単段渦巻ポンプ
ポンプ口径・台数	φ450mm×4台
ポンプ全揚程	H=65m
計 画 揚 水 量	Q=0.426m ³ /s ×4台
電 動 機 出 力	360KW×4台
抵 抗 器	液体抵抗器(起動及び速度制御)



大川吐水槽

●吐水槽諸元

	大川吐水槽	管又吐水槽
構造形式	PC構造	PC構造
直 径	14.5m	17.7m
HWL	TP165m	TP165m
LWL	TP160m	TP160m
有効容量	830m ³	1,230m ³



管又吐水槽